



編集発行

広島県三次市吉舎町
広島県日彰館同窓会

印刷

佐々木印刷株式会社



大仙山（高浦豊太郎墓塋）から望む

館祖祭祭文

若葉の爽やかな香りが通り抜ける桜谷、本日ここ善逝寺本堂において、日彰館同窓会会員にご参集いただき、館祖のご遺族をはじめご来賓の方々のご臨席を戴き、平成31年度館祖祭を執り行うに当たり、館祖奥愛次郎先生はじめ歴代の諸先生のご霊前に日彰館の現状をご報告申し上げます。

創立以来125年を迎えた日彰館高校、同窓会は記念事業として写真集を発刊して同窓会の絆と連携そして発展を目指しております。会員の皆様のご負担をお願いしております。生徒数確保は年々困難になっております。本年は定数には満たなかったものの73名の生徒が入学しました。

日ごろの先生方のご努力のおかげだと思います。進路の状況は国公立（6名）を含む大学進学は46名（内短大3名）、専門学校32名、就職11名となっております。クラブ活動においては日々の練習の成果を発揮し、剣道部は中国高校剣道選手権大会で女子個人2名出場、広島県高等学校新人剣道大会で剣道形の部で男子1位、女子1位。陸上部は広島県高等学校総合体育大会で男子砲丸投7位、広島県新人陸上競技選手権で男子円盤投7位、男子砲丸投3位、中国高等学校新人陸上競技大会出場。ソフトテニス部は地区総体男子団体優勝など地区大会において上位の成績を収めております。吹奏楽部は第59回広島県吹奏楽コンクール小

編成の部で金賞受賞、第56回中学校高等学校吹奏楽祭で広島県教育委員会賞受賞。書道部は、広島県高等学校総合文化祭で審査員賞受賞、第24回全日本書道コンクールで書道教育研究会賞1名、優秀賞2名。美術部写真班は第42回総合文化祭に広島県代表で2名出場、第50回広島県高等学校写真展で5名入選など様々な場所で活躍しており、誠にたのもしいかぎりです。

今まさに平成から令和に元号が変わる時に遭遇しました。5月1日からは令和として新元号が始まります。報道等によりますと高校の普通科教育の再編策、理数教育重視型、地域人材育成型、グローバル型、などなど教育改革が推し進められております。同窓会といたしましても現況をしっかりと見据え学校当局との連携をより一層深め、乗り遅れることなく対応したいと思います。

今後、益々の同窓会の発展を祈念し、ご加護をお願いしご報告とさせていただきます。

平成31年4月28日

広島県日彰館同窓会

会長 春 田 佳 伯

平成31年度 館祖祭並びに本部総会報告

館祖祭

- 会場 善逝寺本堂
 時間 9:30～10:10
 次第 1. 開式の辞
 2. 黙祷
 3. 読経
 4. 祭文朗読(会長 春田佳伯 様)
 5. 焼香(ご遺族・ご来賓・各支部長～他は回し焼香)
 6. 館祖祭の歌
 7. 閉式の辞

- ・第4号議案
本部役員改選について承認を求める件
- ・承認事項
創立120周年記念事業(継続)について承認を求める件
- 9. 閉会の辞

【記念写真撮影】

吉舎生涯学習センター前 中庭

時間 11:30～11:45

同窓会総会

- 会場 吉舎生涯学習センター
 時間 10:30～11:30
 次第 1. 開会の辞
 2. 黙祷
 3. 同窓会会長挨拶(会長 春田佳伯 様)
 4. 祝辞(広島県議会議員 下森宏昭 様)
 5. ご遺族・ご来賓紹介
 6. 会務報告並びに諸報告
 7. 母校現況報告
 (日彰館高等学校 校長 三谷浩雄 様)
 8. 議事
- ・第1号議案
平成30年度会計決算について承認を求める件
(監査報告)
 - ・第2号議案
平成31年度予算(案)について承認を求める件
 - ・第3号議案
日彰館創立125周年記念事業について承認を求める件

本部同窓会懇親会

- 会場 吉舎生涯学習センター
 時間 12:00～13:30
 司会 昭和62年3月卒業生代表(高下節雄・西井弥生)
 次第 母校吹奏楽部演奏(15分程度)
1. 開会の言葉
 2. 挨拶(同窓会副会長 林 千祐 様)
 3. 来賓祝辞(三次市吉舎支所長 甲斐和彦 様)
 4. 乾杯(ご発声 東京馬洗会代表 竹原 弘 様)
 5. 懇親(各支部代表によるスピーチ 2分程度)
*カンパ贈呈(当番幹事代表から学校長へ)
 6. 当番幹事学年引き継ぎ
(昭和62年卒業生代表から昭和63年卒業代表へ)
 7. 校歌斉唱
 8. 万歳唱和
(ご発声 三次市議会議員 桑田典章 様)
 9. 閉会の言葉

平成30年度会務報告

- 4月9日 第50回入学式(日彰館高校体育館)
 10日 新入生80名奥記念館来館
 13日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)
 14日 館祖祭次期当番幹事会第8回(昭61年卒)
 ～奥記念館及び山中宅～
 20日 日彰館高校歓迎会～月彩～
 28日 館祖祭・同窓会総会準備～善逝寺・吉舎生涯学習センター・三祖墓地ほか
 29日 館祖祭・同窓会総会
 ～善逝寺・吉舎生涯学習センター
 当番幹事学年同期会(三次ワイナリー)
 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館)
- 5月22日 台湾の姉妹校「苗栗高級中學」修学旅行団来校・交流
 磯永吉学塾碑にて「台中65号」を用いた日本酒の献酒式(陳章仁・苗栗教員、同窓会役員)
 29日 日彰館高等学校教育振興協議会総会(日彰館高校)
- 6月12日 第1回三役会(奥記念館)
 16日 日彰館高校 日高祭(～吹奏楽、書道パフォーマンス、ステージ発表)
- 17日 日彰館高校 日高祭(～合唱コンクール、ステージ発表、展示、模擬店)
- 7月7日 館祖祭平成30年度当番幹事から次期当番幹事への引き継ぎ会(奥記念館)中止
 19日「吉舎お・も・て・な・し会議」第1回会議
 (日彰館高校)
- 8月23日 日彰館高校オープンスクール(参加者数約200名)
 9月22日 体育祭(日彰館高校)
 29日 日彰館同窓会臨時役員総会
 (三次広域商工会吉舎支所)
- 10月20日 東京支部東京馬洗会支部総会(東京霞ヶ関)
 ～春田会長・雲井事務局長・吉田校長出席～
 27日 吉舎町内同窓会報発送作業
 (吉舎地区役員、日彰館高校)
- 11月1日 日彰館高校文化週間
 8日 日彰館高校学校関係者評価委員会(日彰館高校)
 10日「吉舎お・も・て・な・し」プラン
 ～広島大学留学生～11日
 18日 広島支部総会(ホテルセンチュリー21広島)～湯免顧問・春田会長・雲井事務局長・吉田校長出席～

12月23日 第13回プラスバンド・クリスマスコンサート
(日彰館高校他隣中学校・高等学校吹奏楽演奏会)
～三次市民ホール きりり～

1月2日 館祖祭次期当番幹事会～仁後宅～

1月11日 新春百人一首かるた大会・新春茶会(日彰館高校)

2月2日 第2回三役会議(奥記念館)
館祖祭次期当番幹事会～香蘭～

23日 館祖祭次期当番幹事会
～安田コミュニティセンター～

28日 同窓会入会式(日彰館高校)

3月1日 第50回卒業証書授与式
卒業生担任懇親会～グランラセーレ三次～

8日 日彰館高校学校関係者評価委員会(日彰館高校)

16日 役員総会(三次広域商工会吉舎支所)

24日 第12回日彰館高校吹奏楽部定期演奏会
～吉舎生涯学習センター～

26日 館祖祭次期当番幹事会～奥記念館～

31日 館祖祭・同窓会総会予告看板掲示
(毘沙門橋付近、上下分かれ)

4月9日 第51回入学式(日彰館高校体育館)

12日 館祖祭次期当番幹事会
～三次コミュニティセンター～

13日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)

15日 新入生73名奥記念館来館

19日 日彰館高校歓送迎会～森新～

22日 館祖祭次期当番幹事会～奥記念館～

27日 館祖祭・同窓会総会準備～善逝寺・吉舎生涯学習
センター・三祖墓地ほか

28日 館祖祭・同窓会総会
～善逝寺・吉舎生涯学習センター
当番幹事学年同期会(三次グランドホテル)

29日 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館)

■第1号議案 平成30年度会計決算

①一般会計決算

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 越 金	337,394円	337,394円	
会 費	1,000,000円	785,000円	
(一 般 分)		430,000円	59件
(生 徒 分)		355,000円	平成30年度卒業生 71名
雑 収 入	250,000円	177,180円	
(協 力 金)		85,000円	39件
(そ の 他)		92,180円	館祖祭御供・その他
利 子	100円	1円	ゆうちょ(1円)
繰 入 金	1,000,000円	1,000,000円	積立金取崩
	100,000円	100,000円	同窓会運営基金 (120周年特別会計より)
合 計	2,687,494円	2,399,575円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
会 議 費	30,000円	39,520円	総会資料作製、役員総会等
行 事 費	70,000円	33,600円	総会写真等
慶 弔 費	25,000円	5,000円	佐伯豊香典
卒業記念品費	36,000円	30,672円	卒業証書筒
旅 費	250,000円	149,600円	東京支部総会等旅費
生徒活動助成費	100,000円	76,596円	全国総合文化祭信州大会 (写真部門)
通 信 費	600,000円	551,590円	電話代、インターネット代、 郵便・HP管理手当等
印 刷 費	600,000円	572,765円	会報・払込票等各種印刷
事務手当費	600,000円	600,000円	事務局手当
雑 費	150,000円	70,130円	支部総会祝金、振替口座 加入者負担等
館 報 積 立 金	0円	0円	積立停止中
特 別 積 立 金	0円	0円	積立停止中
事務用品費	50,000円	3,494円	インク代、用紙
予 備 費	146,494円	49,680円	懸垂幕(山尾圭太)
転退職記念品費	30,000円	27,000円	餞別(7名)
次年度繰越金	0円	189,928円	
合 計	2,687,494円	2,399,575円	

②特別会計決算

1. 特別積立金	9,333,695円
ゆうちょ銀行定額	77,000円
両備信用組合定期	1,012,247円
広島銀行 定期	4,120,611円
定期	4,123,837円
2. 館報積立金	1,006,674円
ゆうちょ銀行定額	300,000円
定額	201,000円
両備信用組合定期	202,085円
定期	303,589円
合 計	10,340,369円

③平成30年度創立120周年記念事業特別会計決算報告

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 越 金	5,067,024円	5,067,024円	
利 子	10円	9円	ゆうちょ預金(5円、4円)
合 計	5,067,034円	5,067,033円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	300,000円	日彰館高校教育振興助成
同窓会運営基金	100,000円	100,000円	同窓会一般会計助成
125周年記念事業費	500,000円	200,000円	創立125周年記念事業会計へ繰入
予 備 費	67,034円	2,376円	奥記念館整備(肖像写真)
特別会計積立金	4,100,000円	4,464,657円	次年度繰越金
合 計	5,067,034円	5,067,033円	

④平成30年度創立125周年記念事業特別会計決算

〈収入の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 入 金	500,000円	200,000円	創立120周年記念事業会計より繰入
寄 付 金	6,000,000円	2,086,000円	寄付金、広告協賛金
利 子	10円	0円	
雑 費	0円	0円	
合 計	6,500,010円	2,286,000円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	決算額	付 記
印 刷 費	100,000 円	54,874 円	振替用紙、募金用チラシ
通 信 費	10,000 円	960 円	資料送付
振替手数料	50,000 円	18,390 円	加入者負担
予 備 費	30,010 円	0 円	
特別会計積立金	6,310,000 円	2,211,776 円	次年度繰越金
合 計	6,500,010 円	2,286,000 円	

監 査 報 告 書

次のとおり、監査を実施したので、報告します。

1. 日 時 平成 31 年 4 月 13 日 (土) 9 時 00 分～
2. 場 所 日彰館高等学校 奥記念館 1 階 会議室
3. 監査内容 平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日に至る一般会計並びに特別会計、創立 120 周年記念事業特別会計、創立 125 周年記念事業特別会計について、監査を実施したところ、関係諸帳簿は正確かつ適正に処理されており相違ないことを認めます。

監事 山 田 栄 江[㊟] 加 川 直 幸[㊟]
溝 上 洋[㊟]

■第 2 号議案 平成 31 年度予算

①平成 31 年度一般会計予算

〈収入の部〉

項 目	予算額
繰 越 金	189,928 円
会 費	1,000,000 円
(一 般 分)	
(生 徒 分)	
雑 収 入	250,000 円
(協 力 金)	
(そ の 他)	
利 子	10 円
積立金取崩	1,100,000 円
同窓会基金繰入金	100,000 円
合 計	2,639,938 円

〈支出の部〉

項 目	予算額
会 議 費	30,000 円
行 事 費	70,000 円
慶 弔 費	25,000 円
卒業記念品費	36,000 円
旅 費	200,000 円
生徒活動助成費	100,000 円
通 信 費	650,000 円
印 刷 費	650,000 円
事務手当費	600,000 円
雑 費	120,000 円
事務用品費	30,000 円
予 備 費	98,938 円
転退職記念品費	30,000 円
次年度繰越金	0 円
合 計	2,639,938 円

※ 項目間の流用を認める。

②平成 31 年度特別会計予算

1. 特別積立金 9,333,695 円
2. 館報積立金 1,006,674 円

合計 10,340,369 円

うち特別積立金取り崩し 1,100,000 円を一般会計へ

差引 9,240,369 円

③平成 31 年度創立 120 周年記念事業特別会計予算

〈収入の部〉

項 目	予算額	付 記
繰 越 金	4,464,657 円	
利 子	10 円	
合 計	4,464,667 円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	付 記
教育振興助成費	300,000 円	日彰館高校教育振興助成
同窓会運営基金	100,000 円	同窓会一般会計助成
予 備 費	96,798 円	
特別会計積立金	3,967,869 円	次年度繰越金
合 計	4,464,667 円	

④平成 31 年度創立 125 周年記念事業特別会計予算

〈収入の部〉

項 目	予算額	付 記
繰 越 金	2,211,776 円	
寄 付 金	4,000,000 円	寄付金、広告協賛金
利 子	10 円	
合 計	6,211,786 円	

〈支出の部〉

項 目	予算額	付 記
印 刷 費	120,000 円	募金用振替用紙他
通 信 費	10,000 円	資料送付
振替手数料	50,000 円	加入者負担
予 備 費	31,786 円	
特別会計積立金	6,000,000 円	次年度繰越金
合 計	6,211,786 円	

■第 3 号議案 日彰館高等学校創立 125 周年記念事業について

1. 募金活動
 - ・募金総額 600 万円
 - ・募集期間 2018 年 10 月～2020 年 3 月末 (予定)
2. 「日彰館同窓会基金」の創設
 - ・継続的な同窓会活動の基盤を確立するため
3. 創立 125 周年記念「日彰館写真集」(BOOK) 製作
 - ・2020 年秋の発刊 (同窓会報発送時期) を目処とする

■第 4 号議案 本部役員改選について

1. 役員改選について ※ (任期: 2019 年 4 月～2022 年 4 月)
 - 会 長 再任 春田 佳伯 (昭 40 卒、吉舎支部)
 - 副会長 再任 奥田 節子 (昭 35 卒、吉舎支部)
 - 再任 千崎 一郎 (昭 49 卒、三次支部)
 - 再任 林 千祐 (昭 50 卒、三良坂支部)
 - 新任 中村 幸雄 (昭 43 卒、世羅支部)
 - 新任 熊原 保 (昭 48 卒、庄原支部)
 - 新任 吉田富志雄 (昭 52 卒、吉舎支部)
2. 理事・評議員の交代・変更について
 - 理 事 新任 山根 京司 (昭 52 卒、総領支部)
 - 新任 小原 利美 (昭 52 卒、吉舎支部)
 - 新任 岡本 伸三 (昭 53 卒、吉舎支部)
 - 新任 山中 浩 (昭 61 卒、吉舎支部)
3. 上記以外の常任理事・理事・評議員役員の選任については、再任とする。
4. 顧問の変更について
 - 辞任 湯免 龍夫 (昭 30 卒、三良坂支部)
 - 再任 平田 克明 (昭 33 卒、三次支部)
 - 再任 久保 昇 (昭 34 卒、三次支部)
 - 再任 安井 雅彦 (昭 36 卒、吉舎支部)
 - 新任 小川 照三 (昭 32 卒、世羅支部)
 - 新任 高橋 憲史 (昭 32 卒、庄原支部)

■承認事項

1. 日彰館高等学校創立 120 周年記念事業(継続)について
 - ①日彰館教育振興助成 30 万円 (日彰館高校教育振興協議会へ助成)
 - ②日彰館同窓会一般会計助成 10 万円



平成31年度 広島県日彰館同窓会 本部総会記念写真

館祖祭を終えて

実行委員長 重本 崇

“とうとう実行委員長か…!!”

私が正式に実行委員長を引き受けたのは、忘れもしない平成31年1月2日でした。館祖祭まで4月28日。『なんと、もう4カ月もない』私の頭の中は不安でいっぱい。それでも我が母校日彰館の為に、また私を強く推してくれた友や自分自身へのケジメだと思い、必ず素晴らしい館祖祭にしようと固く決意しました。(ただ実は30歳の時の同窓会で次期幹事を私は引き受け、その後は諸事情により20年間、同窓会を行っていませんでした。同級生の皆さん誠に申し訳ない。)

しかも私は昨年度の館祖祭を次期当番幹事として出席していなかったのです。やはり不安であったり、マイナスからのスタートだなあと感じていました。そんな時に私を温かく迎えて下さったのが、前実行委員長の藤井憲一郎様と前事務局の山中浩様でした。何度もお付き合い下さり、ご自宅までお邪魔をさせて頂き、笑い話も交えてでしたが本当に心強く準備を進めることができ、当日を迎えるに至りました。

お蔭様で館祖祭当日は多くの諸先輩の方々、同期一同、在校生の皆さんのスマイルが確認出来たととても嬉しく思っております。館祖祭を通して感じた事は「なんと素晴らしい仕組みを諸先輩方は作られたんだろ

う」という思いと驚きでした。50歳の大きな区切りとともに館祖祭があることで、あらためて同期の結束をはかると共に、『次に繋げるという意義』を感じることができました。館祖祭が有るから少子化の中でも日彰館高校は様々な分野で今現在も大活躍していると確認できましたし、この灯りが将来さらに強くなる事を願っております。

なお当日は晴天にも恵まれ館祖祭・本部同窓会、懇親会とすべてに感動をもって実行委員長を務めさせて頂きました。なお、当日は行き届かない部分が多々あったかと存じますが、この場をお借りしてご容赦賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

最後に、春田会長様、各役員様並びに雲井事務局長様および先輩諸氏の皆様には多大なる力添えを賜わり感謝申し上げます。そして同期生の皆さん、多忙な中貴重な時間を共に過ごす機会に恵まれたことに感謝しております、本当に有難うございました。



私は今回、あまり力になることはできませんでした
が、50歳の当番幹事に参加したという充実感と、懐
かしい顔ぶれに会い近況を話すことで明日からの自分
の活力になったと感じています。

これから、当番幹事をされるみなさん、是非、当番
幹事に参加してみてください。是非、実行委員を務め
てください。

きっと、やってよかったと思いますよ！

「日に彰かに」

実行委員 仁 後 由 紀 美

ある日、市役所の駐車場で高校時代の先輩に出会
いました。彼女は急いで車から降りて来て「仁後ちゃん、
来年は館祖祭の幹事、頼んだよ！」と言い、颯のよう
に去って行かれました。お断りする選択肢のない申し
入れであることは理解できましたが、戸惑いもあり、
まずは高校の部活の同士であり、現在は配偶者でもあ
る夫に相談しました。それから、もう一人、高校の生
徒会長であり、現在は行政職場で働くなかまでもある
友人に相談しました。私が困った時のすばらしい相談
員です。

今は便利なツールがあるもので、まずはグループラ

インを作成しました。グループ名は校訓のひとつであ
る「衆縁和合」がいいかな、と迷いながらも「ときめ
き日彰館」にしました。校舎、グランド、桜土手、街並、
駅、格技場。高校時代のことを思い出すと、厳しい部
活の稽古のことはそれとして、心ときめく思い出でし
あわせな気持ちになるからです。

徐々に同級生のなかまが集まり、「ほんとに自分た
ちがすべき大切なこと」を柱にして運営に向けて進ん
でいくことができました。リーダーシップをとってく
れた方、実行委員になってくれた方からつながって、
日彰館の同級生一人ひとりに願いが届いていく過程
に、とても元気をもらいました。

遠方からの出席者とは、今後の再会が難しいかもし
れないので貴重な機会となりました。出席したくても
できない方もおられましたが、連絡をいただき、久し
ぶりにお話することができて卒業してからの32年
間、それぞれがつながった空の下でいろいろな生活を
してきたんだなあ、としみじみしました。ひとりでは
どうしようもない時、集まればすぐにまっすぐな明る
い光で包んでくれるなかまはすてき。そんな感覚にも
似た「日に彰かに」という校名も大好きです。

館祖祭に関わる全ての人々に感謝と敬意を示し、こ
の意義深い伝統を次の当番幹事へと引き継ぐ決意で
す。ありがとうございました。



平成31年度 館祖祭当番幹事（昭和62年3月卒）

支 部 だ よ り

東 京 支 部

平成30年度東京支部 総会・懇親会報告

支部長(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成30年度の東京支部(東京馬洗会)総会並びに懇親会は10月20日(土曜日)午後12時30分から東京・霞が関ビル35階、東海大学校友会館・富士の間にて開催されました。当日は多忙なかにもかかわりませず各方面からの来賓の皆様のご臨席を賜り、旧交を温め、盛会の内に終了しました。関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

当日は、冒頭、この1年間でお亡くなりになられた物故者の皆様のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。

続いて総会は、1年間の活動報告そして会計報告が行われ、満場一致で承認されました。

当日は、遠路にもかかわりませず、来賓として春田本部同窓会会長、吉田日彰館高校校長、雲井本部同窓会事務局長、松村三次市教育委員会教育長、吉宮世羅高校東京校友会会長のご臨席を賜り、日彰館高校創立125周年記念事業への取組みと寄付金ご協力をお願い、そして高校や同窓会や県北の近況などをご報告いただきました。参加者は約1年振りに聞く故郷の近況とあって真剣に耳を傾けておられました。

お酒も進み、懇親会は随所で盛り上がる中、恒例のビンゴゲーム。「ビンゴ!」の発声と共に随所で歓声が響き、楽しいひと時を過ごしました。各方面から過分なるご協賛の品々をご恵贈いただきましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。

引き続き二次会には春田会長、吉田校長、雲井事務局長、そして吉宮会長もご出席いただき、大いに盛り上がり、午後6時、盛況の内に散会となりました。



東京馬洗会 第6回 観桜会を開催

報告(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成31年4月2日(火曜日)、東京・上野公園にて第6回観桜会を開催しました。

2月頃から暖冬の日々が続き「今年の開花は早いのでは」との予測が当たり、3月下旬に開花宣言。ただでさえ全国的に開花の早い関東地域、開催当日の頃にはもうダメかと、気をもむ日々が続きましたが、月末にかけての花冷えにより、当日は晴天にも恵まれ絶景の桜を満喫することが出来ました。

懇親会場は、上野精養軒直営の「3153店」。総勢25名の方が参加されました。卒業年次は昭和29年～54年までの幅広い世代の方々が参加されました。

なお、今回初めて、平素から東京馬洗会との親交が深い世羅高校東京校友会の吉宮孝治会長にご出席いただきました。

冒頭、私より少し寂しい話題で恐縮ですが、3月末をもって吉田校長先生が退任されたこと、そして新校長には西城紫水高校校長の三谷先生がご着任されました。秋の東京馬洗会総会にはお会い出来ると思います。



また、去る3月24日、143年続いた吉舎町安田小学校の閉校式が執り行われたことを報告しました

参加者は昨年10月の東京馬洗会総会以来、久々の再会の人も多く、随所で「乾杯！久し振り！」そして近況の語らいが続きました。そして午後2時過ぎまで、和やかな歓談が続きました。

今年も上野精養軒に勤務されています昭和54年卒業の清田祐司様に沢山のお気遣いをいただき、美味しいバイキング料理と酒類で全員が満足、楽しいひと時でした。

明年も4月2日(木曜日)、同じ会場にて開催しますので、お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

東京馬洗会／東京庄原格致会／ 東京西城会（庄原市西城町出身） の3会合同懇親ゴルフを開催

報告（昭和40年卒） 杭 迫 重 臣

東京馬洗会、庄原格致高校の同窓会である東京庄原格致会、庄原市西城町出身者で構成される東京西城会の3会合同による懇親ゴルフ会を開催しました。

本会は春秋2回の開催を基本としており、第5回の大会は平成30年10月16日(火)、第6回大会は平成31年4月23日(火)、いずれも千葉県野田市の紫カントリークラブあやめコースで開催しました。

第5回大会(参加者14名)は、東京庄原格致会所属の室伏孝一様がOUT47、IN49、GROSS96、HDCP24.0、NET72.0で優勝されました。室伏様は当日87歳のご年齢で最長老での優勝でした。

また、第8位とされました岩竹康良様(東京馬洗会所属、76歳)は、OUT37、IN38、GROSS75でエイジ・シュートの快挙を達成されました。ご両名の成績は「言うは易し、行うは難し」ゴルフは息の長いスポーツであり、もっと若手は頑張れとの檄を飛ばされたようでした。

ご両名のお祝を兼ねて、今年1月19日(土)、日本橋馬喰町駅近の「福家」にて、3会合同の新年会を開催、その酒豪振りは驚くばかり、さすがに広島県人、来年も新年会を是非！と。

そして今年4月23日開催の第6回大会(参加者20名)は、東京庄原格致会所属の加藤勝様がOUT44、

IN43、GROSS87、HDCP16.8、NET70.2で優勝されました。当日は世羅高校東京校友会の吉宮孝治会長が初めて参加され、本会の輪は着実に広がっています。向後は、三次高校や青陵高校ご出身の皆様にも声掛けしていきたいと思っています。

なお、第7回大会(幹事役は東京馬洗会)は、令和元年10月8日(火)千葉県野田市の紫カントリークラブあやめEASTコースにて開催します。母校はもとより、お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

広 島 支 部

平成30年度日彰館同窓会 広島支部総会によせて

広島支部長(昭和45年卒) 折 出 幸 二

平成30年11月18日、午前11時よりホテルセンチュリー21広島にて、平成30年度日彰館同窓会広島支部総会および懇親会を催しました。来賓として母校から杉野教頭先生、本部同窓会より湯免顧問、春田同窓会長、雲井事務局長、以上4名来ていただき、支部会員17名の総勢21名で行いました。

年々参加者も減少し、一時の様な勢いはありませんが、和気あいあいと楽しんでいたと思います。毎年のこと、ビンゴゲームを行っています、景品のカンパもあり手土産がついています。

同窓生の皆さま、ぜひともご参加いただきまして「ふるさと談義」をしていただければと思います。また、令和の時代も続けて開催しますので、よろしくお願いいたします。



ク ラ ス 会 だ よ り

岡部三八会(昭和38年4組卒)懇親会

岡部三八会 寿 山 文 雄

後鳥羽上皇配流の地「隠岐の島」を訪ねて

8百年前承久の乱で敗れた後鳥羽上皇は隠岐の島への配流途上、吉舎神社で宿泊。「御叡慮に相叶候や吉き舎りと宣言在らせられ候。それより吉舎村と追々村名唱替候由」とある。吉舎の地で育てられた我々岡部三八会の面々、予てより新古今和歌集の撰進者でもある後鳥羽上皇に興味津々、昨年11月ようやく神々の島

隠岐の島で親睦会を開いた。

隠岐の島に渡る前まずは腹ごしらえ、大根島「山美世で特上うな重」を食した後うなぎ神社参拝、ご利益も特上。美保神社を経由し七類港から乗船。

島に上陸し早速北前船も寄港した港町を散策。さてお風呂の後は楽しみにしていた海鮮料理です。サザエに鮑、新鮮なモズク等々最後に隠岐牛を堪能。会は、後鳥羽天皇の三種の神器なき即位に始まり、新古今和歌集、将又故郷吉舎で詠まれた登美志山、勝田池、三良坂仁賀の謂れ等々真面目な話も程々に、前年現役諸

君達がチャレンジした「顔出しパネル」のギネス登録、後輩が出店する喫茶、パン屋、かすり暖簾の話、何時までも母校、古里の話題が尽きない一時を過ごした。2日目は浄土ヶ浦海岸に続き白鳥展望台から日本海を遠望、水若酢神社では闘牛場に、島で一番由緒ある土俵、中沼了三も学んだ私学膺徴館跡を見学、玉若酢神社にある樹齢千数百年の八百杉に圧倒されたまま、150数社の神社があるといわれる隠岐の島の旅を終えた。

2日間共に好天に恵まれ、穏やかな波間に神々しいばかりの島影を映しつつ船は島根半島に帰る。

我こそは 新島守よ 隠岐の海の
荒き波風 心して吹け 後鳥羽院

後期高齢者の仲間入りも何のその、何時までも向学心旺盛、元気一杯の私達はこれからも歴史、文学そして美食の旅へと出かけるのです。



平成30年度 会費納入一覧

(1口:5,000円)

No	卒業年	名 前	口数	合計口数	No	卒業年	名 前	口数	合計口数
1	昭40	杭 迫 重 臣	追 2	14	39	昭24	西 家 二 三	追 1	20
2	昭25	貞森(菅)一隆	追 2		40	昭56	新 木 久 志	追 1	3
3	昭32	井 上 文 吾	追 1		41	昭41	青 木 晃 子	追 1	6
4	昭33	西 本 忠 教	追 2	20	42	昭36	池本(乙重)操子	追 1	2
5	昭34	久 保 昇	追 1	18	43	昭58	山 田 美 紀	追 1	3
6	昭43	中 村 幸 雄	追 2	24	44	昭58	和 泉 唯 信	追 4	50
7	昭40	坂 井 敬	追 2		45	昭44	須 澤 利 文	追 2	28
8	昭48	熊 原 保	追 2	7	46	昭25	中原(橋本)秋二	追 1	22
9	昭39	中田(沼田)範子	追 1	13	47	昭52	豊 原 康 邦	追 1	8
10	昭37	正 山 征 洋	追 2		48	昭59	樫 吉 彦	追 1	4
11	昭31	伊 藤 正 敏	追 2	5	49	昭56	伊 達 浩 史	追 2	3
12	昭40	奥 田 義 和	追 1	5	50		笠間(卯山)茂道	追 1	2
13	昭30	宮澤(豊原)功	追 2	27	51	昭42	波 多 伸 樹	追 1	
14	昭28	島 田 浩 之	追 2	7	52	昭21	高 島 里 江	追 1	2
15	昭26	繁 高 蒔 子	追 2	20	53	昭48	近 森 智 史	追 2	3
16	昭40	元 吉 徳 明	追 1	8	54	平21	桑 田 真由子	追 1	2
17	昭24	宮 崎 敬 介	追 2	8	55	昭19	竹下(山元)君枝	追 2	3
18	昭40	伊 達 雅 治	追 1	2	56	昭54	雲 井 一 浩	追 1	10
19	昭33	伊 達 かほり	追 1	10	57	昭43	佐藤(福場)純子	追 1	
20	昭14	瀧 口 次 郎	追 2	11	58	昭20	矢吹(桐尾)文子	追 1	6
21	昭34	多 留 正 弘	追 1	4					
22	昭39	明智(近藤)祥治	追 2	26					
23	昭36	原 田 剛 志	追 1	5					
24	昭54	河 野 俊 彦	追 1	9					
25	昭46	平 野 公 章	追 1	6					
26	昭61	山 中 浩	追 1	3					
27	昭41	片 山 巖	追 1	17					
28	昭33	正 平 浩 文	追 1	27					
29	昭43	山 口 仁 史	追 1	4					
30	昭38	信 歳 重 巳	追 1	2					
31	昭38	大 倉 勝 則	追 1	3					
32	昭38	岡部三八会 (会長 本田尚志)	追 2	7					
33	昭52	細 谷 香	追 2	18					
34	昭52	吉 田 富志雄	追 1	7					
35	昭46	廣 岡 道 明	追 4	12					
36	昭35	宮 川 征 二	追 1	5					
37	昭52	小 池 栄 治	追 2	6					
38	昭33	上 平 靖	追 2	9					

平成30年度 本部運営協力金納入状況

No	卒業年	名 前	金 額
1	昭40	杭 迫 重 臣	3,000円
2	昭33	西 本 忠 教	2,000円
3	昭43	中 村 幸 雄	3,000円
4	昭25	迫 文 四 郎	1,000円
5	昭48	熊 原 保	2,000円
6	昭39	中田(沼田)範子	1,000円
7		末 信 丈 夫	1,000円
8	昭31	伊 藤 正 敏	5,000円
9	昭40	奥 田 義 和	1,000円
10	昭30	宮澤(豊原)功	10,000円
11	昭38	村上(高橋)敏子	1,000円
12	昭26	繁 高 蒔 子	1,000円
13	昭40	伊 達 雅 治	3,000円
14	昭14	瀧 口 次 郎	1,000円
15	昭36	原 田 剛 志	1,000円
16	昭54	河 野 俊 彦	1,000円
17	昭61	山 中 浩	1,000円
18	昭33	中 山 彰 夫	1,000円
19	昭40	西 奥 義 夫	1,000円
20	昭57	大久保 美 樹	1,000円
21	昭41	片 山 巖	500円
22	昭52	細 谷 香	1,000円
23	昭38	岡部三八会 (会長 本田尚志)	2,000円
24	昭46	廣 岡 道 明	2,000円
25	昭35	宮 川 征 二	1,000円
26	昭48	大 谷 直 己	1,000円
27	昭52	小 池 栄 治	1,000円
28	昭25	迫 文 四 郎	1,000円
29	昭36	池本(乙重)操子	500円
30	昭58	和 泉 唯 信	20,000円
31	昭44	須 澤 利 文	1,000円
32	昭25	中原(橋本)秋二	1,000円
33	昭52	豊 原 康 邦	1,000円
34	昭59	樫 吉 彦	5,000円
35	平 7	重 広 幸 恵	2,000円
36	平21	桑 田 真由子	1,000円
37	昭19	竹下(山元)君枝	1,000円
38	昭20	矢吹(桐尾)文子	2,000円

同窓会本部からのお願い

皆様には平素より広島県日彰館同窓会（以下、当会）の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

日彰館は、奥館祖の建学の精神が反映され「日彰館魂」として語り伝えられ、「質実剛健」「衆縁和合」の現れとなって今日まで綿々と受け継がれています。当会もこうした精神のもと、日彰館高校への支援並びに同窓生会員相互の交流を図っています。その活動は、皆様からの会費や運営協力金に支えられています。しかしながら、近年の会費等の納入減少の中、積立金の取崩で運営しています。このような現状が続けば今後、組織運営について財政上の逼迫が懸念されます。

つきましては、多様な学習ニーズに対応した日彰館教育に対して、継続的な支援活動をさらに充実していくと共に当会の発展を図るため、何卒趣旨をご理解賜り、皆様の絶大なご協力をお願い申し上げます。

また、ご支援をいただいた振込にあたっては、事務の簡素化を図るため、半券の「受領書」をもって領収書に替えさせていただきます。なお、同窓会報への名前の掲載について匿名のご希望がございましたら、その旨を通信欄にご記入ください。今般の諸の諸事情を何卒ご理解の上、よろしくお願い申し上げます。

広島県日彰館同窓会 会長 春田佳伯

●会費（1口 5,000 円）を納入してください。

●会費（従来の終身会費）を既に納入されている方は、できるだけ増口をお願いします。

●本部運営協力金 500 円以上の協力をお願いします。

●同封の払込取扱票をご利用ください。

※同窓会本部の運営活動は、皆様からの会費や協力金で支えられています。

同窓会報掲載の原稿を募集しています。

1. 各支部やクラス会等の様子

2. 俳句や短歌など

3. 在学時代の思い出写真やエピソードなど

※ 毎年6月末で〆切ります。

母 校 だ よ り

令和元年度 現況報告

① 学校経営方針 ― 継承と発展 ―

(1) ミッション（地域社会における自校の使命）

「質実剛健」「衆縁和合」の校風のもとに、グローバルな視野を持って地域貢献できる人材を育成する。

(2) 育てたい子ども像

ア 自らへの自信と人としての思いやりを持ち、自分や母校、自分の志について語ることのできる生徒。

イ 逆境をテコに、マイナスとされるコトやモノをプラスに切り替えしていく生徒。

ウ 耐える力と回復力を持ち、不安や迷いに打ち克って新しいことにチャレンジしていく生徒。

(3) 入学式式辞より

ア 伝統の継承

館祖、奥愛次郎先生による教育理念（三大主義「徳教主義」「田舎主義」「私学主義」）

校訓「質実剛健」「衆縁和合」に添った教育活動を展開する。

イ 「知徳体」をバランスよく成長させる。

ウ 長所を伸ばす。

② 本年度の重点的取組

(1) 「学習」の充実と学習習慣の確立により、基礎学力を向上させる。

(2) 「自ら考え、判断（選択）し、表現（行動）する力」を付けることにより、自力で自分の希望進路を100%実現させる。

(3) グローカル・プログラムの精選と深化を図る。

(4) 部活動の活性化を支援する。

(5) 地元との学校交流、地域交流、地域貢献活動を推進し、地域から信頼される学校となる。

③ 県立高校を取り巻く状況

(1) コミュニティスクール制度の導入

(2) スマホ・携帯等の校内持ち込み許可について

平成30年度 進路実績

進路決定先 ※ () 内は外数で過年度卒を示す。

大学・短大	30 (2)
専修・各種学校	28
就職・公務員	11
その他	2
卒業生計	71

合格先 ※ () 内は外数で過年度卒を示す。

大 学	国公立	5 (1)
	短 大	37 (1)
短大	公 立	0
	私 立	3
専修・各種学校	公 立	6
	私 立	26
就 職	一 般	10
	公務員	1
その他		2

進路先

※○数字は人数を示す。() 内は外数で過年度卒を示す。

大 学

<国公立大学> 帯広畜産大学、県立広島大学③(1)、
下関市立大学<私立大学> 龍谷大学、桃山学院大学、福岡大学、安田
女子大学④、広島修道大学、広島工業大学
②、広島国際大学④、広島文教大学③、福
山平成大学②、比治山大学、広島都市学園
大学、広島国際学院大学②等<私立短期大学> 広島文化学園短期大学、関西女子短期大学、
神戸常磐大学短期大学部

<公立専門学校> 広島県立三次看護専門学校⑥

<私立専門学校> 尾道医師会看護専門学校、広島福祉専門学
校、広島工業大学専門学校、広島ビジネス
専門学校、広島美容専門学校等

就 職

リョービミラサカ、コスモス、シナジーテクニカ、
ジェイ・エム・エス三次工場、モルテンスタンピ
ング、まつやセロファン、西日本メタル福山事業所、
広島三菱自動車販売等

公 務 員

自衛隊

平成30年度 部活動実績

吹 奏 楽 部	◆第59回広島県吹奏楽コンクール 高等学校小編成部門 金賞 ◆第56回中国中学校・高等学校吹奏楽まつり 広島県教育委員会賞
美 術 部 (写 真 班)	◆第42回全国高等学校総合文化祭(信州大会) 広島県代表2名 ◆第50回広島県高等学校写真展 5名入選うち2名が次年度総文祭へ推薦
書 道 部	◆広島県高等学校総合文化祭書道展 審査員賞 ◆全国高等学校書道教育研究会書道コンクール 書道教育研究会賞 ◆全国高校生<書道>S-1グランプリ 入賞
剣 道 部	◆中国高校剣道選手権大会 女子個人：2名出場 ◆広島県高等学校新人剣道大会 剣道形男子：1位 剣道形女子：1位
陸 上 競 技 部	◆第71回広島県高等学校総合体育大会 男子砲丸投：7位 ◆第67回広島県高等学校対抗陸選手権大会 男子円盤投 7位 男子砲丸投 4位 ◆第57回広島県高等学校新人陸上競技選手権 男子円盤投 7位 男子砲丸投 3位 ◆中国高等学校新人陸上競技大会 出場



6 月 日高祭



9 月 体育祭



10 月 台湾研修旅行



11 月 吉舎おもてなしプラン(国際交流)



11 月 吉舎おもてなしプラン(吉舎町歩きガイドツアー)



1 月 百人一首かるた大会



11 月 吉舎おもてなしプラン(留学生との交流会)

日彰館創立125周年記念事業についてのお願い

2018年から取り組みを進めています「日彰館創立125周年記念事業」についてご協力ありがとうございます。2019年6月末段階の状況をご報告します。

支 部	寄付金	件 数
東 京	490	40
京阪神	254	20
福 山	20	3
府 中	5	1
尾 道	10	1
世 羅	45	5
三 原	35	5
広 島	227	22
九 州	10	1
庄 原	120	11
三 次	370	17
上 下	0	0
甲 奴	25	3
総 領	0	0
三良坂	20	4
吉 舎	650	65

(寄付金：円)

現在の募金総額 2,281,000円

創立125周年の節目にあたり、次の活動に取り組んでいます。

1. 未来を開く人材を育てる日彰館教育に対して支援活動を継続的にさらに充実していくための「日彰館同窓会基金」を創設します。

募金総額 600万円(1口 5,000円)

募集期間 2020年3月末まで

2. 写真集『日彰館～学び舎と地域の風景～』(仮称)を製作します。

【構成】A4サイズ 約50ページ(白黒・カラー)

開学三祖、歴代校長・同窓会長、学校学び舎の推移、学校生活の様子、地域の風景(今昔)、奥記念館陳列資料など

1口 5,000円以上で、1冊進呈します。

2020年秋の発刊を予定しています。

昨今の社会状況の中、出費多端な折とは存じますが、日彰館高等学校への支援に格段の尽力添えを賜りますようお願い申し上げます。なお、お振込にあたっては、事務の簡素化を図るため、振替用紙の半券「受領証」をもって領収書に替えさせていただきます。領収書が必要な方は、通信欄にご記入ください。

編集後記

同窓会報が第50号を迎えました。1894(明治27)年に、奥愛次郎先生によって創立された「私立日彰館」は広島県下で4番目に古く、県北では最も古い学校です。本年は創立125周年の節目を迎えました。1969(昭和44)年4月に県立移管し、平成31年4月には、第51回の入学式が行われました。そして5月から、元号が「令和」となりました。

県立高等学校として半世紀の歴史を刻み、私学からの伝統である「衆縁和合」を受け継いできています。未来に向けて、さらなる発展の節目としたいものです。同窓生の皆さまをはじめ、関係者の方々の縁を紡ぎながら、日彰館の高校教育の益々の進化をめざし、今後とも何卒ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

文責 事務局 雲井

事務局

〒729-4211 広島県三次市吉舎町吉舎 293-2 広島県日彰館同窓会事務局 TEL (0824) 43-2664

事務局長 雲井 一浩(昭和54年3月卒業) 携帯電話 090-9065-6742

(事務局は留守が多いので、携帯へご連絡くださいますようお願いいたします。)

●PC用 <http://nitsushoukan.com/> ●スマートフォン用 <http://nitsushoukan.com/sp/index.html>

●メールアドレス nikko-ds@p1.pionet.ne.jp